

2001年4月

ブレビス

トヨタ

プログレ派プレミアムセダン

360度完全包囲 デビュー39日前の痛快・速報SCOOP！

クラウン、セルシオ、ソアラといった最高級車を扱うトヨタ店は50代から上のユーザーが多い。確かにこれらの車種を販売していれば、1台あたりの利幅は大きく、しっかりと利益を生み出すことはできる。しかし、それと同時にユーザーの高齢化がクルマ離れにつながる危険性もあり、このままでは先細り状態に陥ってしまうのは目に見えている。

[↑ zoom](#)[↑ zoom](#)

上方へ回り込んだ大きなヘッドランプと高級感あふれる縦線基調のラジエターグリルが印象的なブレビス。グリル上端につくエンブレムマークはゴールド処理が施されたライオンがモチーフだ。

これがブレビスのリアビューだ。トランクリッドにまたがるコンビランプは奥行き感あるクリスタルタイプで、フロントマスクに負けない存在感が演出されている。イメージカラーはこのイラストで再現したボルドーマイカだ。

そこで、40代以下のユーザーをトヨタ店に吸引すべく登場するのがプログレ派生セダンこと「ブレビス」だ。他誌に先がけて本誌ではそのネーミングはつかんでいたが、詳細に関する確証が得られず、スクープ班が活動を続けてきた。そして、6月4日のデビューを39日後に控え、ついに確定フォルムやスペックをつかむことに成功。

ブレビスの売りはプログレと同じく、取り回しやすいボディサイズ（4550mm×1720mm×1460mm）にある。「大きいこと」イコール「良いこと」という公式はもはや成り立たなくなっており、小さくてもプレミアム性の高いクルマにトヨタはチャレンジ。ブレビスはややスポーティな雰囲気も備えていて、あのカーリーナE Dの生まれ変わり（?!）を思わせる存在でもある。

トヨタFRセダンのラインナップ このあと、どう変わる？

トヨタ店	 セルシオ	 クラウン& マジェスタ	 ブレビス	兄弟車
トヨペット店	 セルシオ	 マークII	 プログレ	兄弟車
ネッツ店	 アリスト	兄弟車?	 アルテッツァ	 チェイサー
ビスタ店	 アリスト	 ヴェロッサ	 クレスト	
カーラ店	引き続きFFセダンをラインナップ展開			

クルマをクリックすると拡大写真がご覧になれます。

月4日にブレビスが登場することで、カーリーナEDが廃止された後、クラウンとカーリーナの間に生じていたトヨタ店4ドアラインナップのギャップが埋まる。トヨペット店と並んでトヨタ店にも3つのFR量販セダンが揃うことになるが、ほかの販売チャンネルはどうなるのか、見ておこう。

まず、スポーティ系で統一されるネッツ店は6月にチェイサーが廃止され、アリストとアルテッツァの2本立てとなって特色が強調される。一方、抜本的な建て直しが図られるビスタ店ではアリストをそのままに、やはり旧マーク+輝の兄弟車クレストが消滅。代わって新ブランド「ヴェロッサ」が7月6日に発表されるのは既報のとおりだ。なお、カーラ店ではこれまでどおり、ウィングダムを頂点にしたFFセダンでラインナップが構成される。

▲ 戻る





















